

ケアマネ通信

No. 53

発行：令和 6年 2月 1日

事務局：東町わたや薬局内

担当： 大石良美 吉田武士 畑田圭介

TEL：0942-81-3039

FAX：0942-81-3053

鳥栖地区介護支援専門員協議会

事業所内での回覧をお願いします！

1. 会長挨拶



鳥栖地区介護支援専門員協議会 会長 大石 良美

令和6年1月1日に能登半島を襲いました能登半島地震が起きまして、被災された方々、そのご家族、ご親族、関係者方々に対しまして心よりお見舞いを申し上げます。まだまだ不安な日々が続いておりますが被災地の1日も早い復旧をご祈念致します。

鳥栖地区介護支援専門員協議会への活動に対し日頃よりご協力していただき感謝申し上げます。協議会も発足し20年が過ぎました。お陰様で皆様方の暖かいご支援・ご協力によりここまで続けることができました。これからも協議会の発展のために皆様のお力添えをお願い致します。

さらに今年は介護、医療、障害のトリプル改正となり介護支援専門員を取り巻く環境もまた厳しくなると思いますが、皆様一緒においしいものを食べて乗り越えましょう。



2. 第2回 全体研修会 報告

開催日時：令和5年10月13日

ひまわりの園居宅介護支援事業所 吉田武士

『BCP（自然災害）策定のポイント・災害対策机上訓練』

令和5年10月13日、第2回鳥栖地区介護支援専門員協議会全体研修会をサンメッセ鳥栖会議室で行いました。前回から引き続き災害支援ケアマネジャーの牛島久厳氏と朝長由美子氏に講師をご担当して頂きました。

令和6年度からBCP策定が義務化するに当たり牛島氏よりBCP（自然災害）策定のポイントを説明して頂きました。BCPの策定を行うことで「発災時にどのようなリスクがあるのか」「どのように対処するのか」など発災時に起こり得る様々な障害が認識でき大規模災害などにおいて、損害を最小限に抑えて事業の継続・復旧を行うことができるようになります。

具体的に

- ・推進体制の確認（平常時、発災時）
- ・リスクの把握 ハザードマップの活用
- ・優先する業務 利用者の安否・所在の確認
- ・システムが停止した場合の対策 ノートPC・タブレット端末の活用 災害時利用者台帳 の作成（紙ベース）
- ・緊急時の対応 職員の参集基準 安否確認
- ・他施設との連携
- ・地域との連携

利用者避難一覧表や安否確認表など帳票をつけてもらいましたので参考になると思います。

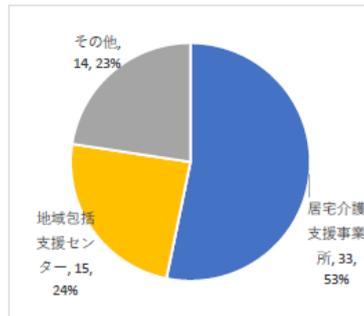
朝長氏より前回に引き続き机上訓練を行って頂きました。今回大雨による大規模な浸水被害を想定しシミュレーションすることにより災害時の備えと連携の仕方、地域資源を再確認することができました。今回はフェーズ1までの訓練でしたので、今後はその先のフェーズの訓練も受けてみたいと思いました。全国で毎年大きな災害が起こる中で、日頃の準備がいかに重要かを学ぶことができました。自分自身も被災者になる中でどのような行動がとれるのか、個人としても事業所としてもできることからしっかりと取り組んで準備していきたいと思っています。

BCP災害研修 机上訓練

アンケート実施 回収率：77.5%（80名参加のうち62名回収）

1.所属事業所

所属事業所	人数
居宅介護支援事業所	33
地域包括支援センター	15
その他	14

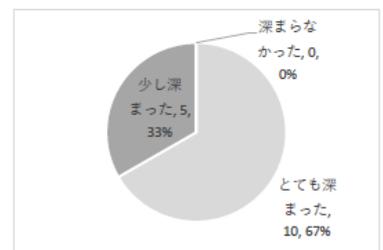
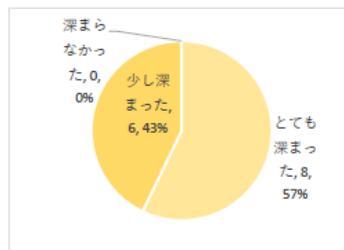
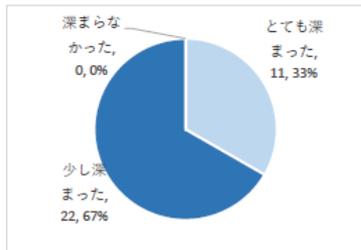


2.BCPに対する理解

居宅介護支援事業所	
BCPに対する理解	
とても深まった	11
少し深まった	22
深まらなかった	0

包括	
BCPに対する理解	
とても深まった	8
少し深まった	6
深まらなかった	0

その他	
BCPに対する理解	
とても深まった	10
少し深まった	5
深まらなかった	0

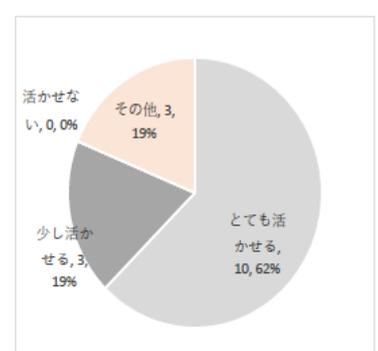
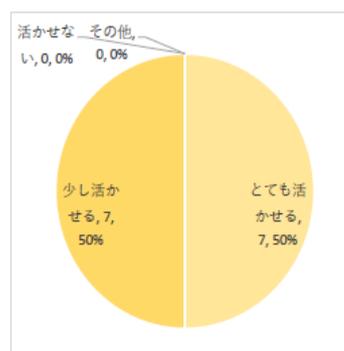
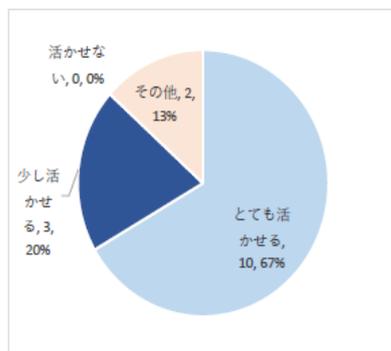


3.研修内容の活用

居宅介護支援事業所	
研修内容の活用	
とても活かせる	10
少し活かせる	3
活かさない	0
その他	2

包括	
研修内容の活用	
とても活かせる	7
少し活かせる	7
活かさない	0
その他	0

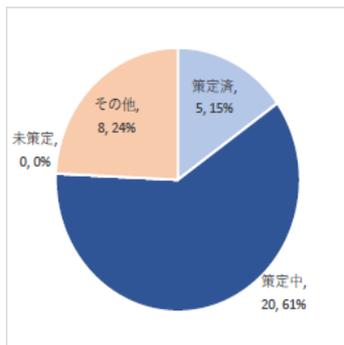
その他	
研修内容の活用	
とても活かせる	10
少し活かせる	3
活かさない	0
その他	3



4.BCP策定の取り組み

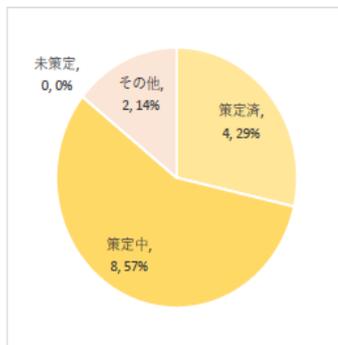
居宅介護支援事業所

BCP策定のとりくみ	
策定済	5
策定中	20
未策定	0
その他	8



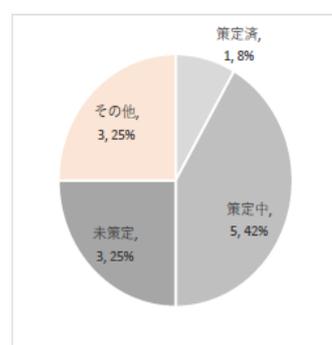
包括

BCP策定のとりくみ	
策定済	4
策定中	8
未策定	0
その他	2



その他

BCP策定のとりくみ	
策定済	1
策定中	5
未策定	3
その他	3



4-1 BCP策定済の災害の想定内容 (延べ数)

居宅介護支援事業所

災害	
土砂	3
浸水	3
地震	3
想定無その他	1

包括

災害	
土砂	3
浸水	4
地震	4
想定無その他	1

その他

災害	
土砂	0
浸水	1
地震	1
想定無その他	0

居宅介護支援事業所

季節	
春・秋	2
夏	2
冬	2
想定無その他	1

包括

季節	
春・秋	1
夏	0
冬	0
想定無その他	3

その他

季節	
春・秋	1
夏	1
冬	1
想定無その他	0

居宅介護支援事業所

時間帯	
日中帯	3
夜間帯	3
休日	3
想定無その他	1

包括

時間帯	
日中帯	3
夜間帯	1
休日	1
想定無その他	0

その他

時間帯	
日中帯	1
夜間帯	1
休日	0
想定無その他	0

5.感想

- ・ BCPの策定参考になりました。
- ・ BCPの必要性を感じました。
- ・ BCP作成済。定期的な検討、見直しの必要性を感じた。
- ・ BCP策定に活かしていきたいと思うが、自分の命も同じだと感じました。
- ・ BCPをよりブラッシュアップしていく必要があると思いました。
- ・ 事前に研修を受けることで、これからBCP策定を行う上で、良い参考になったと思います。
- ・ 策定後の訓練が重要と感じました。
- ・ 緊迫した状況で、即座に対応しないといけないことを痛感した。
- ・ 各事業者（居宅・行政・訪問看護）などの役割や考え方、捉え方がある者と感じた。連携の必要性を感じた。
- ・ 机上訓練に参加するのは初めて。災害を想定して考えていくのは難しいと感じた。
- ・ すごく勉強になりました。今後しっかりと考えていかなければならないと思いました。
- ・ すごくわかりやすかった。定期的に行って意識づけすることが大切だと思った。
- ・ それぞれの役割を実施の職種に分かれたグループワークだったので、参加者は色々考えることができたと思います。
- ・ 同じ居宅同士でグループワークできたのが良かったです。
- ・ 居宅同士の連携強化。
- ・ 日々の業務の中で、災害の事を考えながら業務遂行していきたいと思っています。
- ・ すごく勉強になりました。日ごろの備えを大事にしたいと思っています。
- ・ 普段から災害対応を考えておく必要性を感じました。楽しみながら学べました。
- ・ 机上訓練でパニックになったので、日頃からの備えが必要だと感じました。
- ・ 災害時の対応に関しては、訓練を繰り返すごとにイメージが付きやすくなると感じています。非常時の事を考えることは、日常の支援のアイデアを広げることでもできると考えています。
- ・ 災害時の確認の優先順位等も今回実際に訓練してみて見えてくるものがありました。
- ・ グループワークで他の方の意見を聞き、気づきが得られた。楽しく学べました。
- ・ フェーズ0から段階的に学びたいと思いました。災害レベルも低⇒高へと学べたらと思いました。
- ・ 机上訓練を行うことで、自分にはない視点で考えることができた。各事業所の役割について考える機会になった。
- ・ 実際の災害を想定して考えることができた。災害に備えて何ができるのかを事前に考えておかなければならないと改めて感じた。
- ・ 災害について考えることができて良かった。
- ・ シミュレーション、机上訓練のやり方が分かった。本当に活用できるBCPを作成します。
- ・ 包括の役割が多すぎて怖いです。
- ・ 包括が行う役割について理解ができました。災害時支援ができるように考えていきたいと思っています。
- ・ 具体的な災害を想定しながら活用できるBCP作成をしていきたいと思いました。
- ・ 包括支援センターとしての役割についても考えていきたいと思いました。
- ・ 包括に求められる支援要請に対応できるようなBCP作成が必要と思いました。
- ・ 支援には、外部との連携が重要になることに対して、法人の理解を得られるか難しい問題。
- ・ 法人本部が策定しないので、計画書が作成できない。
- ・ 災害にあったことがないので、想像することが難しかった。

6.研修で取り上げてほしいテーマ

- ・ どういったタイミングで避難所開設するとか、行政からの講話をしてもらいたい。
- ・ フェーズ0で考えるべき対応について考えたい。
- ・ フェーズII・IIIも受けてみたいと思いました。
- ・ 感染に関するBCP作成について
- ・ 今回の研修を定期的に開催してもらいたい。
- ・ 医療と介護の連携
- ・ コミュニケーション
- ・ 包括支援センターと鳥栖広域の連携と情報共有について
- ・ 法改正における心構え、情報の共有、内容の解釈等
- ・ ハラスメント研修、虐待についての研修

3. 第3回 全体研修会 報告

『ICF とストレングス視点の考え方』

介護老人保健施設 寿夢の郷 末永世界

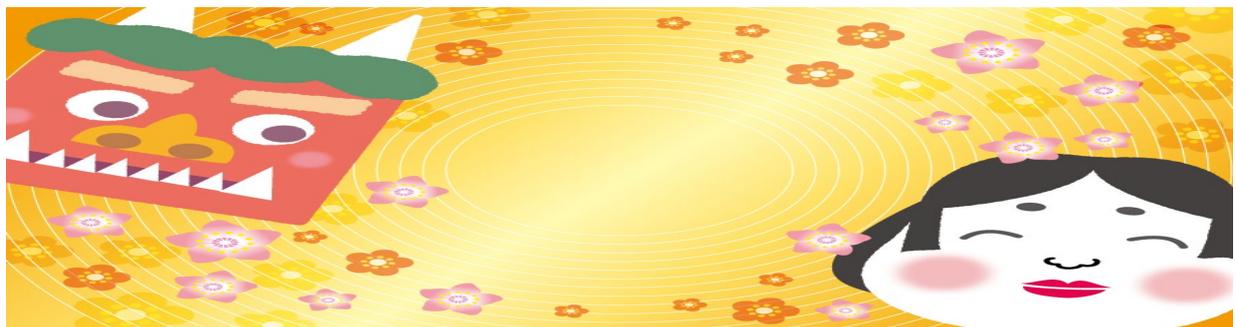
鳥栖地区介護支援専門員協議会の今年度第3回の全体研修が、1月12日にサンメッセ鳥栖で開催されました。「ICF とストレングス視点の考え方」というテーマで、神奈川県地域包括ケアシステム統括アドバイザー等をされている松川竜也先生をお招きして約2時間半の講演を行っていただきました。

【研修のねらい】

ICF(国際生活機能分類)の考え方を学び、課題だけではなく可能性や強みを把握できる視点を持つことで、目標志向型のケアマネジメントに繋がられるようになりたい。

【感想】

今回の講義では、新年度からの介護保険制度の改正の概要に触れたうえで、松川先生の多くのご経験と、具体的な支援を聴くことができ、重要な部分はゆっくりと丁寧にお話しされていることが印象的でした。ポジティブな表現で、その人の望む暮らし方や目標を考え、そのために必要な手段を提案していくことの大切を再確認しました。私たちの日々の仕事において、様々な職種との会話の中でも、課題やできないことをどう補うかという議論をしていることはよくあります。健康状態、心身機能、活動参加、背景因子など、広い範囲の概念でアセスメントすることで、自己決定を尊重した視点で、どう生きたいのか何をすればよいかを考えた支援ができるようにしていきたいと思いました。



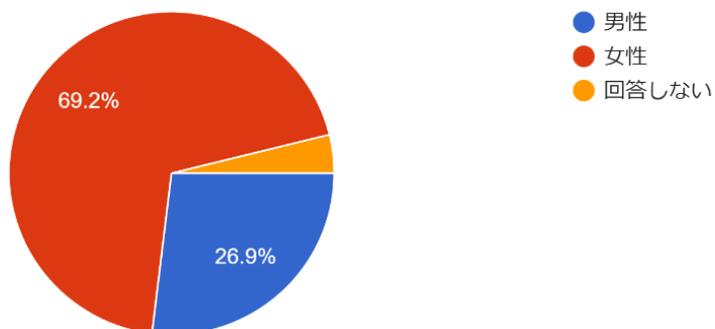
令和5年度 第3回研修会アンケート結果 R6.1.12

ICF とストレングス視点の考え方

松川竜也先生

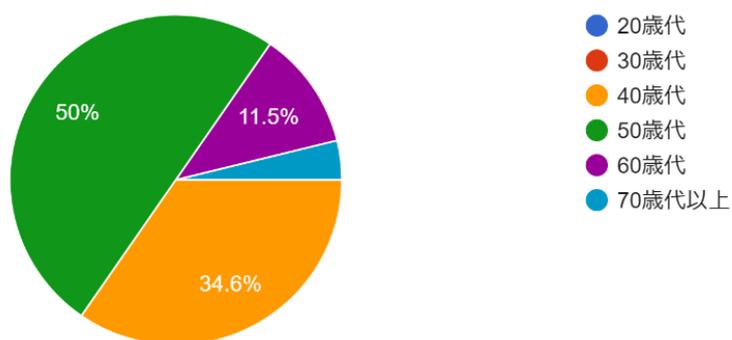
性別

26件の回答



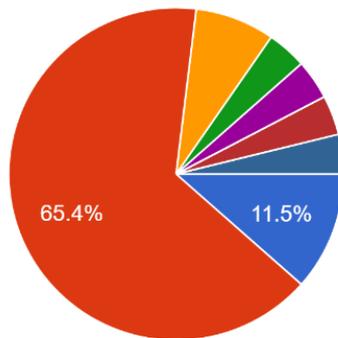
年齢

26件の回答



基礎資格

26 件の回答

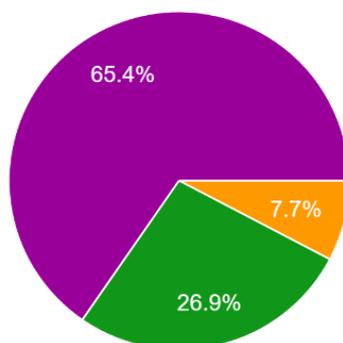


- 看護師
- 介護福祉士
- 社会福祉士
- 歯科衛生士
- 理学療法士
- 作業療法士
- 栄養士
- 社会福祉主事

▲ 1/2 ▼

経験年数

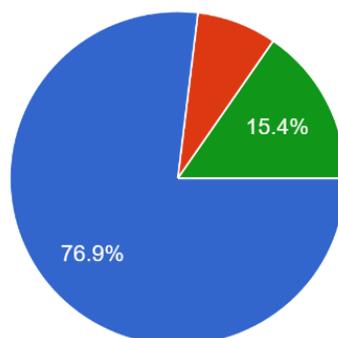
26 件の回答



- 1年未満
- 1~3年未満
- 3~5年未満
- 5~10年未満
- 10年以上

勤務先の事業所種別

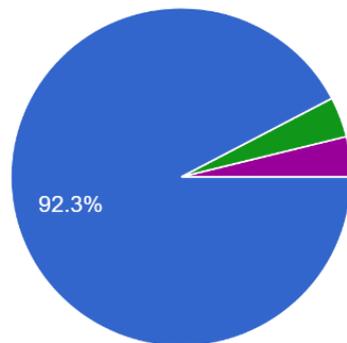
26 件の回答



- 居宅
- 施設
- 病院
- 包括

本日の研修内容の満足度

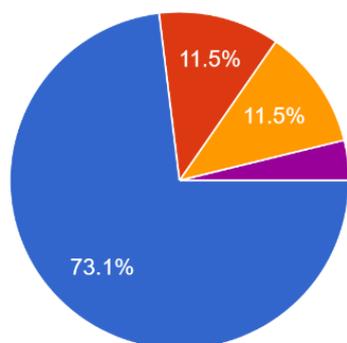
26 件の回答



- 満足
- 満足とは言えない
- どちらとも言えない
- 概念ばかりで実践的ではない
- 本日の研修には参加していません

本日の研修時間

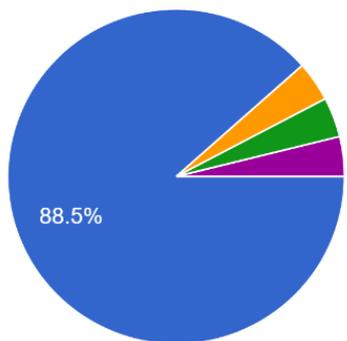
26 件の回答



- ちょうど良かった
- もっと聞きたかった
- 長かった
- どちらとも言えない
- 知らなかったので参加していませんが、良いと思います。

研修日時

26 件の回答



- ちょうど良い
- 良くない
- どちらとも言えない
- 日中実施するのは業務との兼ね合いで難しいのでは？
- 知らなかったので参加していませんが、良いと思います。

【自由記載】

- ・理解するまでに時間がかかりそう
- ・ICFについて何を言いたいのかさっぱり分からない。概念ばかりで具体性がなく実践的ではない。ICFの概念が何故一般化していないのかをもっと分析した方がいい。ケアプラン作成においてアセスメントや課題分析からプランを立てれるほど地域資源が豊かではないところが多い。それならば結局逆算してのプランにいまは成らざるを得ないのでは？
- ・ストレングスの視点が大変勉強になりました
- ・非常に分かりやすかったです。
- ・分かり易い説明で、テンポもよく楽しく研修参加できました。
- ・あらためて利用者の持っている力について着目する事を気が付かされる研修でした
- ・研修ありがとうございました。ICFは理解できました。
- ・新しい視点でのアセスメント、目標設定となった
- ・ICFについて深く考えることができ、とても勉強になりました。
- ・2024介護保険制度改定についても話していただき参考になりました
- ・法改正についても話があり、良かったです。新しいアセスメントについて、国は全部の記載を要望して要るわけではなく其の利用者にとって必要な項目の記載で良いことの説明は有り難かったです
- ・ICFについて詳しく説明して頂き理解を深める事ができました
- ・回答、遅くなり申し訳ございません。ICFに沿ってケアプラン作成する事で力を引きだせると感じる事も多い反面、本人や家族の理解が得られず支援して貰えないと捉えられる事もある。本人や家族は出来ない所を補うプランを希望する中でのジレンマを感じる事も多いです。
- ・理解している内容ではあるが、先生の言葉で伝わりやすく講義されているので良かった。グループワークで時間を費やさないところも良かった。
- ・参考になりました
- ・わかりやすい内容でしたが、2時間では時間が足りないように感じました。

【今後、取り上げて欲しいテーマや講師の希望】

- ・もっともっと講義のレベルを上げないとダメ。面白くない。自分たちの身近にある問題解決方法からはじめてもいいのでは？
- ・複数の課題を同時に抱えるケースに関しての支援のステージ設定に関して勉強したいと思います。もし、勉強出来たら幸いです。
- ・障がいの制度的についても研修が受けたいです

4. 介護の日フェスタ報告

介護の日フェスタ報告書

ひまわりの園居宅介護支援事業所 吉田 武士

令和5年11月18日、みやき町市村清メディカルコミュニティーセンターに於いて「介護の日 相談会」が行われました。当日、会場ではマルシェも開催され野菜や雑貨、キッチンカーなど多数出店しており大勢の方が訪れ賑わいました。鳥栖地区介護支援専門員協議会の相談ブースにも7組の相談があり対応させて頂きました。

令和6年1月20日、基山町民会館にて講演会が開催されました。講演会は例年11月の「介護の日 相談会」と同日に行われていましたが、今回は講師の先生との日程調整の兼ね合いでこの日の開催となりました。当日は雨で足元が悪いなか、関係者を合わせて350人以上の方が来場され聴講されました。

講師の丹野智文先生には「認知症とともに歩いていく町を目指して」とのテーマでご自身の体験を語って頂き、認知症の方しか分からない苦労や想い、認知機能を補うためにスマートフォンを駆使して対応していることなどを知ることができ、認知症に対する考え方をもう一度振り返る良い機会になりました。また先生の認知症の人にやさしい町は他のすべての住民にとってもやさしい町になれる（趣旨）との言葉がとても印象に残りました。



ちょっとひとこと

鳥栖市の木に制定されている「クロガネモチ」。

公園樹や街路樹として植えられることがあり、「金持ち」に通じる縁起木として、庭木としても好まれています。

葉は深緑色で光沢があり美しく、秋からは小さなたくさんの実がつき始め、冬には果実が真っ赤に熟して春まで残ります。

野鳥が実をついばみ運んでいる光景を目にすると、季節や生命を感じることができますね。

野鳥といえば、鳥栖市の鳥に制定されているのは？と思って調べたら・・・「メジロ」

あっ！？ そうか・・・鳥栖市のキャラクター「とっとちゃん」、あれはメジロがモチーフなのか！

そんなことに気付いた今日でした。



鳥栖地区広域市町村圏組合介護保険課 <http://www.kttnet.co.jp/tosukaigo>

佐賀県介護保険事業連合会 <http://www.sagadensan.net/skr/>

佐賀県介護サービス情報公開システム <http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do>

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp>

WAMNET <http://www.wam.go.jp>

鳥栖地区介護支援専門員協議会 <http://www.tosukaigo.com/>

会報 編集委員 大石良美 吉田武士 畑田圭介 鳥栖地区広域市町村圏組合

発行責任者 大石良美

発行 鳥栖地区介護支援専門員協議会

事務局 東町わたや薬局